続・ブラックコーヒー

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

続・ブラックコーヒー

【Nコード】

N4528BA

【作者名】

ごほんライス

【あらすじ】

「ブラックコーヒー」の続編です。どんな感じになるかわからないけど、今回は演繹でなく帰納で書いてみようかなとたくらんでます！……！

網一郎

「ブラックコーヒー」の続編です。

双葉公園のテントで弁村網一郎は、小学生にいたずらをしていた。犯罪である。児童わいせつだ。

だから、テントの中に警官が入ってきた。「げ。おまわりさん」「覚悟しろ」警官は竹刀で網一郎のお尻を思い切りたたいた。「うぎやああああああ」小学生はあわてて逃げた。

しかし、警官には誤算があった。小学生ロリ華は実は網一郎に恋してしまっていたので、のちにまたテントに行ってしまうのである。まあそのときもまた竹刀でお尻をたたかれるのだが。なんにせよ児童わいせつはいけない。

網一郎は悲しくて悲しくて居酒屋へ行きたいが、アルバイトにそんな力がない。

竹刀で素振りをする。

「正社員死ね！正社員死ね！正社員死ね！」

網一郎らアルバイトから不当に利益を奪う悪魔の正社員をぶち殺す夢を見る。すつきりする。しかし目が覚めれば、現実が待ち構えている。相変わらず、正社員にいじめられる日々だ。

それでも生きていかなばならない。理由なんてない。生きるってそんなもんだ。

網一郎は、ある日、ロリ華に、「小説を書いてみたら？」と言われた。「小説ってもうかるの」「もうかるよ。正社員を見返すことができるよ」「まじかよ」

消費税増税のこと

とにかく網一郎はアルバイトだから庶民とはだいぶ違った思想を持っている。たとえば網一郎に消費税増税について聞けば、こういう風に答える。

消費税増税ってあまり意味がないと思うんだよな。そんなアホなことせんで、金持ちの所得税を増やして、貧乏人に援助すりゃいいのよ。そうすりゃ日本はよくなる。

小泉政権のとき、大企業優遇政策ちゅうのやったんだよな。トツプダウン効果を狙ったのこと。大企業が潤えば大企業が下の企業に援助して社会全体が潤うちゅう発想。結果どうなったかというのと、大企業が全然下に援助しないんで、大企業の社員ばかりが贅沢して、下請けの社員が生活苦からどんどん自殺していった。要するに政策が失敗したわけ。政府が見誤ったのは大企業の社員も人の子ということ。世のため人のために働く社員も少しはいるが、ほとんどは自分の利益のために動く。儲ければ、贅沢しようとするだけ。貧しい人に援助しようなんて発想は端からない。戦後、日本人は公的精神が著しく低下している。

だから、前述の通り、金持ちの所得税を増やして、貧乏人に援助する政策をとればいい。金持ちからいくらかネとつても生活には困らんし、貧乏人に援助すれば自殺が減るから労働力を確保できて社会が安定する。労働者を殺したら社会が動かなくなる。

所得税を増税すると逆にまずい。まず金持ちは増税しても痛くも痒くもないからいいにしても、貧乏人は増税すると自殺してしまう。労働力不足で社会が停滞する。意味がない。てか、金持ちは儲ける分苦しむ義務が派生するから、痛くも痒くもないちゅうのは道義的に間違っている。いいってことはなかったな。

そもそも、所得税増税の理由は社会保障の推進と言われてるが、

これも理論的におかしい。

介護でも道路工事でもなんでもいいが、介護職員も道路工事のおっさんも給料が減ってるから、コストダウンして、好景気の時代に比べ、社会保障に回す金額はぐっと減ってる。だから所得税増税しなくても社会保障は十分にできる。余裕だ。

てか、所得税を増税すると貧困にあえぐ介護職員や道路工事のおっさんがさらにさらに貧しくなり、仕事が上手くできなくなって、社会保障が停滞する。つまり、所得税を増税すると、なんと政府見解とは裏腹に社会保障が停滞してしまうのだ！

では、なぜ政治家や官僚はそういう事実を隠し、消費税増税に躍りになってるのか。

実は消費税を増税すると、政治家や官僚の懐に莫大なカネが入り贅沢できてしまうアホみたいなシステムが今の日本では完成してしまってるのだ。つまり、政治家や官僚は自分らが贅沢したいから消費税増税を推進してるのである。彼らは国をよくしようなんてこれっぽっちも思っていない。国がボロボロになってもいくら破壊されてもいいから、自分らがいいもん食えていい家に住めていい女抱けていい車に乗れて海外旅行に年に何回も行けられればそれでいいオールドツケーだと考えてるのだ。餓死者や自殺者が増えても別にかまわんと考えてる知ったこっちゃないと。ある種の統合失調症だ。脳の病気だ。

ゆえに結論としては、消費税を増税する前に、政治家や官僚を、休日の小学校に集めて、道徳の授業をするといいいんじゃないかなあ。まずは彼らの思考を大改造してまともにしてかないと、日本をよくするんはなかなか難しい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4528ba/>

続・ブラックコーヒー

2012年1月12日07時52分発行